

環境先進国

ドイツから学ぶ

吉田 浩巳

36



環境NPOのBUNDは、環境に対する行政や企業の動きをチェックし、基本的には企業や行政からの資金は受けていません。

BUNDの主な活動内容としては、①自然の保護活動②歴史的記念物の保護活動③景観も含めた環境保護に関する広報④環境政策に対する評価⑤環境教育などが中心です。

そのほか、時にはデモ行進をしたり、行政政策が誤っていると判断した場合には、裁判

など高い専門知識を持ったメンバーをそろえています。BUNDの具体的な活動事例や考え方の一部を紹介したいと思います。

様々な環境NPO②

自主独立し行政“監視”

ドイツの町を歩くと環境先進国というイメージにはほど遠いほどゴミやたばこのポイ捨てが目につきます。BUNDのスタッフに「ゴミが道端にたくさん落ちていますが清掃活動などほしくないのですか」と尋ねました。「道路などの公共空間のゴミに関しては、行政の責任であるからBUNDとしては、一切行わない」という答えが返ってきました。

判を起したりすることも活動の一環となっています。このように行政に対して強く意見を主張します。BUNDは

くというスタンスを取っているのも特徴です。さらに、活動において、行政に協力した場合でも行政から委託料や謝金ももらうことは一切しないそうです。

運営面においては、年間予算は約1200万ユーロ(約14億円)

で、資金は会費と寄付でほとんどまかなっています。また、スタッフ

は弁護士や科学者、エンジニア
（社団法人まちづくり国際交流センター理事長）
毎月第2、第4、第5水曜日掲載



町を歩けば、ごみが目につく自転車置き場